

別紙仕様書

■基本機能

- 下記部門のセントラルモニタと接続し、システムが提供する機能（本仕様書の全記載内容）を使用することが可能であること。
6F 東、5F 東、4F 東、3F 東、4F 西、3F 西、4F 中、透析センター、化学療法センター、放射線治療センター
- 1 床につきデータの切れ目なく連続 30 日間分以上の波形データを記録する機能を有すること。
- 保存されたデータは 30 日間データの削除が行われず保存され続ける機能を有すること。
- 画面表示として、患者一覧画面、履歴画面、実波形画面、長時間画面、イベントリコール画面、リストトレンド画面、グラフトrend画面、12 誘導解析画面、メッセージボード画面を有すること
- Web を使用して、全院内電子カルテ端末から上記画面の参照が可能であること。
- Web を使用して、全院内電子カルテ端末から過去 30 日間の波形データに関しても参照が可能であること。
- Web ビューアは解像度 WXGA(1280x768)、SXGA(1289x1024)、FullHD(1920x1080)の 3 種類に対応が可能であること。
- テレメータでデータ取得していた患者が急変し、ベッドサイドモニタを追加でモニタリングを増やした場合に、テレメータ・ベッドサイドモニタの両データが同一患者のデータとしてデータ保存が出来、データの取り落としがないこと。
- 無線双方向テレメータを利用し、無線のベッドサイドモニタについても時刻の同期を行うこと。

【患者一覧画面】

- 患者一覧画面はソート機能を備え、部門、患者 ID、氏名、入床日時などで昇順・降順のソートする機能を有すること。
- 検索機能を備えており、患者 ID、氏名、部門名、保存期間、ベッド番号、入床日、性別、年齢、ペースメーカーの使用／不使用、看護チーム名で検索が可能であること。

【患者情報表示】

- 患者情報表示領域をクリックすることで、患者情報詳細画面の表示が可能であること。

【履歴画面】

- 参照しているデータと同じ患者 ID のデータは履歴画面にリスト表示が可能であること。
- 履歴リストには部門、ベッド番号、入室日時、保存期間と共に、入床状況の遷移をグラフィカルに参照できる履歴バーの表示が可能であること。

【実波形画面】

- 実波形画面では1画面につき最大24個のパラメータ表示が可能であること。
- 実波形画面では1画面につき最大8波形表示が可能であること。
- 表示する波形・計測値を選択できる機能を有すること
- FTP による波形画像送信機能を有し、電子カルテなどで画像を保存できる機能を有すること
- 送信画像は、拡大8波形と拡大1波形から選択が可能であること。
- 送信画像には、コメントを含めた付帯情報ファイルの付加が可能であること。

【長時間画面】

- 長時間画面は瞬時心拍トレンドと長時間波形の構成が可能であること。
- 任意の時間に画面をスクロール又はジャンプさせる機能を有すること。
- 波形の任意の場所を指定して、その時点での拡大波形画面の表示が可能であること。
- 電子カルテへ波形画像を送信できる機能を有すること。

【イベントリコール画面】

- 保存期間内全てのリコール波形の参照機能を有すること。
- リスト表示から選択したリコール波形を拡大表示する機能を有すること。

■電子カルテシステム連携

【セキュリティ機能】

- データの参照や入力、保存を行うとき、ユーザIDとパスワードの要求を行い、データの改竄の防止を行えること。ただし、電子カルテシステムにログインしたユーザが、電子カルテシステムの一機能としてアクセスする場合は、既に認証されているものとして扱われること。
- ユーザ毎に参照ユーザ・フルアクセスユーザ・管理者ユーザの権限を設定できる機能を有すること。
- アカウントの編集は管理者のみが可能であり、又各人が任意にパスワードを変更できる機能を有すること。
- 一定時間を経過した場合は、自動的にデータ参照権の放棄が可能であること。
- データの参照やコメント入力した際の日時を記録したログを一定期間保持すること。

【他システムとの連携】

- HIS（電子カルテシステム）端末上から、Web ブラウザにより、該当患者の生体情報（波形・計測値）の参照が可能であること。
- 電子カルテ端末で参照している患者について、患者IDを引数として、ダイレクトログインが可能であること。
- 患者基本情報を HIS から取得し、生体情報モニタ管理システム及びセントラルモニタにその情報を表示できる機能を有すること。

- 無線双方向テレメータを利用し、無線のベッドサイドモニタについても患者基本情報の同期が可能であること。
- システム時刻を HIS から定期的を取得し、ベッドサイドモニタからセントラルモニタまで時刻を同期させる機能を有すること。
- 無線双方向テレメータを利用し、無線のベッドサイドモニタについても時刻の同期が可能であること。
- 拡大波形表示画面上で指定した心電図波形画像を、HIS に送信又は保存させる機能を有すること。
- 病棟モニタと送信機からの計測値を電子カルテへ自動送信し温度板の作成補助が可能であること。

■保守・メンテナンス

- 24 時間、365 日対応の緊急サービス窓口の設置が可能であること。
- リモートメンテナンスを行う場合は、事前に行う旨を病院スタッフに伝達すること。
- リモートメンテナンスの通信には暗号化された電文を用い、第三者に情報が漏洩することを防止できること。